

## 第 6 期上尾市障害福祉計画及び第 2 期上尾市障害児福祉計画（案）に係る市民コメント結果

実施期間	令和2年12月18日(金)～令和3年1月19日(火)
設置場所	・障害福祉課 ・情報公開コーナー
	・各支所 ・出張所
	・上尾市Webサイト
周知方法	広報あげお12月号 及び 上尾市Webサイト に掲載
意見提出人数	3人
	(内訳1 提出方法:①持参0人 ②郵送0人 ③ファクス1人 ④メール2人)
	(内訳2 在住在勤:①在住2人 ②事業所等0人 ③在勤0人 ④在学0人 ⑤固定資産所有者0人 ⑥利害関係者1人)
意見提出件数	14件
	(内訳1 章別:全体的1件、第2章4件、第3章9件)

**「第6期上尾市障害福祉計画及び第2期上尾市障害児福祉計画（案）」に対する意見募集結果**

No.	頁	大項目(章)	小項目	意見	意見要旨	市の考え方	対応
1	全体的	—	—	全般的に、緻密に調べ実行されておりびっくりしました。障がいの方は、子どもも増加傾向、高齢化もあって増え続けている中でがんばっておられると思います。	障がいの方は、子どもも増加傾向、高齢化もあって増え続けている中で頑張っておられると思います。	—	—
2	12	第2章	3. 障害児の状況 (2)市内在住者の通級指導教室の学級数と児童・生徒数	難聴・言語の通級指導教室について、児童数に対して、教室数が少ないと思う。できれば、各大エリアに1クラスくらいは設置してほしい。	難聴・言語の通級指導教室を利用する児童数に対して、教室数が少ないため、各エリアに1クラスは設置してほしい。	通級指導教室に係る教員配置については、埼玉県「通級による指導の教員配置要項」によって定められております。上尾市では、要項の配置基準に則り、教員を配置しております。	参考意見
3	20	第2章	4. 障害者・障害児の生活状況 (1)日常生活について②現在の生活で困っていること	「子供の将来の介助のこと」をサポートするのは、各児童の発達状況や、金銭的なこともあってケースバイケースで介入が難しい部分もあると思う。今、行っていたような民間事業者によるレクチャーなど保護者への情報提供や、きっかけづくりは引き続きお願いします。また、本当に困っている人は、障害福祉の分野だけでないかのせいもあるため、横断的なサポート窓口をお願いします。	「子どもの将来の介助」へのサポートは、児童毎に発達状況や金銭状況などケースバイケースであり、介入が難しい部分はあるが、引き続き保護者への情報提供やきっかけづくりに取り組んでほしい。また、障害福祉の分野に限らず、本当に困っている人を横断的にサポートする窓口を設置してほしい。	関係機関と連携し、市ケースワーカーや障害者生活支援センターによる相談支援に引き続き取り組んでまいります。また、障害、子育て、介護など、日常生活のさまざまな困りごとや複雑化する福祉ニーズに対応できるよう、総合的な相談窓口の設置を検討してまいります。	参考意見
4	28	第2章	4. 障害者・障害児の生活状況 (5)権利擁護について④暴力や暴言を受けた場所	数としては少ないものの、1件でもあってはならないと思う。引き続き調査と、対策や啓蒙をお願いします。受けている箇所が職場、学校、家庭ということなので、健常者の啓蒙の部分もかなり必要なのだと感じます。	暴力や暴言について、数としては少ないが、1件でもあってはならないため、引き続き調査や対策に取り組んでほしい。また、暴力や暴言を受けた場所として、職場、学校、家庭が挙げられており、健常者に対する啓蒙も必要。	障害者虐待防止法に基づき、障害者虐待の予防、早期発見、障害者虐待の防止のための対策、必要な調査の実施、市民への広報や啓発活動に努めてまいります。	参考意見
5	29	第2章	4. 障害者・障害児の生活状況 (5)権利擁護について④暴力や暴言を受けた場所	「幼稚園の先生から」と具体的な記載があったとあるが、障害児を支える側の専門性については教育部局だけでなく、福祉の面からの先生方への支援をもっと手厚くするべきではないか。	障害児を支える側の専門性については教育部局だけでなく、福祉の面からの先生方への支援をもっと手厚くするべき。	教育委員会と連携し、障害者虐待防止法や障害者差別解消法の普及啓発を通じて、先生方に対する支援に努めてまいります。	参考意見

No.	頁	大項目(章)	小項目	意見	意見要旨	市の考え方	対応
6	43	第3章	1. 基本的な考え方 (5)障害児の健全な育成のための発達支援	特に、幼少期のグレーゾーンの子供は発達の過程なのか、障害特性なのかの判断が難しい中で、保護者も子供も不安の中過します。数値には含まれていないグレーゾーンの子供は年齢が上がってからの不登校や社会に出てからの困難につながる人が多いです。 これまで公立幼稚園ではこのような発達に心配のある幼児に対して、豊富な専門的知識もっている先生方から適切な支援をしていました。年齢が上がってからの困難に備え、適切な幼児教育を受けることができるよう、今後は福祉的な観点からも幼児教育について支援して欲しいです。またこれまで公立幼稚園は、障害のある子もいない子も共に遊びを通して相乗効果をえることができるインクルーシブ教育を教職員の専門性の高さがあるからこそ推進しています。発達の心配のある子に対する支援はもちろんですが、人は周りとの環境の中で成長します。社会モデルの考え方からしても、周りの環境への働きかけは大変重要ではないでしょうか。	これまで公立幼稚園では発達に心配のある幼児に対して、豊富な専門的知識もっている先生方から適切な支援をしていた。 適切な幼児教育を受けることができるよう、今後は福祉的な観点からも幼児教育について支援して欲しい。  これまで公立幼稚園は、障害のある子もいない子も共に遊びを通して相乗効果をえることができるインクルーシブ教育を推進している。 発達の心配のある子に対する支援はもちろんだが、人は周りとの環境の中で成長するため、周りの環境への働きかけは大変重要。	教育委員会や発達支援相談センター等の関係機関と連携し、その子供に合った幼児教育を受けることができるよう支援してまいります。	参考意見
7	56 83	第3章	「⑤障害児支援の提供体制の整備等」、「8.障害児通所支援等の見込み量及び確保のための方策」	高次脳機能障害児が、発達障害児の陰に隠れ、支援から漏れることがないよう、職員への啓発など、何らかの施策を計画に記してください。	高次脳機能障害児が、発達障害児の陰に隠れ、支援から漏れることがないよう、職員へ啓発すること。	高次脳機能障害児が支援から漏れることがないよう、職員へ周知・啓発に努めてまいります。	参考意見
8	57 69 73	第3章	「⑥相談支援体制の充実・強化等」、「(4)相談支援」、「③相談支援事業」	上尾市内にある埼玉県総合リハビリテーションセンター内に設置されている高次脳機能障害者支援センターとも連携しながら、高次脳機能障害との診断に早期につなげる体制を整備するなど、高次脳機能障害者への相談支援体制の充実・強化を図っていくことを計画に記してください。	上尾市内にある埼玉県高次脳機能障害者支援センターとも連携しながら、高次脳機能障害との診断に早期につなげる体制を整備するなど、高次脳機能障害者への相談支援体制の充実・強化を図ること。	埼玉県高次脳機能障害者支援センターと連携し、高次脳機能障害者の相談支援体制の充実に努めてまいります。	参考意見
9	61	第3章	6. 障害福祉サービスの見込み量及び確保のための方策 (1)訪問系サービス ■訪問系サービスの見込み量確保のための方策	若年性認知症や脳卒中の後遺症で高次脳機能障害となった第2号被保険者の介護保険サービス利用者の方を、ケアマネジャー等と連携し、早期に器質性精神障害と診断につなげ、介護保険サービスだけでなく併用できる障害福祉サービスや、障害年金制度につなげていく方策を、計画のどこかに記してください。	若年性認知症や脳卒中の後遺症で高次脳機能障害となった介護保険サービス利用者の方を、ケアマネジャー等と連携し、早期に器質性精神障害と診断につなげ、障害福祉サービスや、障害年金制度につなげていくこと。	若年性認知症や脳卒中の後遺症で高次脳機能障害となった介護保険サービス利用者の方を、障害福祉サービスや障害年金制度に繋げられるよう、ケアマネジャー等と連携するとともに、研修等の機会を通じて周知・啓発に努めてまいります。	参考意見

No.	頁	大項目(章)	小項目	意見	意見要旨	市の考え方	対応
10	62	第3章	6. 障害福祉サービスの見込み量及び確保のための方策 (2)日中活動系サービス「②自立訓練(機能訓練)」	機能訓練の対象に身体障害のない高次脳機能障害者も加わることを周知すること、高次脳機能障害者も対象に加わったことを前提にした利用見込み量を、計画に記してください。	機能訓練の対象に身体障害のない高次脳機能障害者も加わることを周知するするとともに、高次脳機能障害者も対象に加えた利用見込み量を見込むこと。	自立訓練(機能訓練)対象者の要件緩和については、市ホームページで周知してまいります。 また、自立訓練(機能訓練)の利用見込を以下のように見直します。 (修正後)R3:5人・90人日分、R4:6人・110人日分、R5:7人130人日分 (修正前)R3:4人・75人日分、R4:4人・75人日分、R5:4人・75人日分	修正
11	64	第3章	5. 障害福祉サービスの見込み量及び確保のための方策 (2)日中活動系サービス	現在は単純作業の就労・そのための教育が多いですが、今後はPCやタブレットなどを使った仕事も障がい者の方でも増えてゆくと思うので、そのための教育・就労支援もお願いします。	今後増加が予測される、PCやタブレットなどを使用した仕事にも対応できるような教育・就労支援をお願いしたい。	今後増加する就労ニーズを踏まえ、障害特性や就労ニーズに応じた多種多様な教育・就労支援から選択できることが望ましいと考えます。 今後の参考とさせていただきます。	参考意見
12	79	第3章	7. 地域生活支援事業の見込み量及び確保のための方策 (2)任意事業	上尾市が実施している認知症高齢者の徘徊対策事業の対象に高次脳機能障害も含める、あるいは障害福祉担当課で新たに徘徊対策事業を設けるなど、今後、徘徊する高次脳機能障害児者への支援策を検討していくことを計画に記してください。	上尾市が実施している認知症高齢者の徘徊対策事業の対象に高次脳機能障害も含める、あるいは障害福祉担当課で新たに徘徊対策事業を設けるなど、今後、徘徊する高次脳機能障害児者への支援策を検討していくことを計画に記してください。	上尾市徘徊高齢者等探索サービス事業では、高次脳機能障害等の要因に基づく、脳の器質的な変化による初老期の認知症の人についても利用の対象としております。 今後も対象者の人が広く利用できるよう周知・啓発に努めてまいります。	参考意見
13	81	第3章	7. 地域生活支援事業の見込み量及び確保のための方策 (2)任意事業 ■地域生活支援事業の見込み量確保のための方策	例えば、ホームページに高次脳機能障害についての解説を載せることなど、高次脳機能障害についての啓発をしていくことを計画に記してください。	ホームページに高次脳機能障害についての解説を載せることなど、高次脳機能障害についての啓発をしていくこと。	高次脳機能障害について市民の理解が促進されるよう、市ホームページに掲載してまいります。	参考意見
14	84	第3章	8. 障害児通所支援等の見込み量及び確保のための方策 ④保育所等訪問支援	訪問支援について、教育部局と連携して、各保育所、幼稚園、こども園などに特別支援コーディネーターを設置し、早期の段階から障害のある幼児または保護者に相談できる場を確保し、幼児にあった支援を長期的にまたは就学以降も繋げていく体制作りを行い、福祉の面からの積極的な支援が必要ではないでしょうか。	訪問支援について、教育部局と連携して、各保育所、幼稚園、こども園などに特別支援コーディネーターを設置し、早期の段階から障害のある幼児または保護者に相談できる場を確保し、幼児にあった支援を長期的にまたは就学以降も繋げていく体制作りが必要。	保育所等訪問支援は、保護者の希望により、専門職が保育所等を訪問し、障害のある児童及び保育所等の職員に対し、集団生活に適應するための専門的な支援や支援方法等の指導・助言を行っております。 今後の参考とさせていただきます。	参考意見